

令和8年第3回宝塚市議会（定例会）一般質問一覧表

令和8年9月28日（月）～ 10月1日（木）

（場所：宝塚市議事堂）

発言順位	発 言 者	質問方式	発言時間	予 定 日 時	
1	森 賀 宣 代	一問一答式	60分	9/28 (月) 6人	9:30～10:30
2	持 田 ち え	一問一答式	60分		10:30～11:30
3	末 永 やよい	一問一答式	60分		12:45～13:45
4	中山 ゆうすけ	一問一答式	60分		13:45～14:45
5	北 野 聡 子	一問一答式	60分		15:00～16:00
6	中 野 正	一問一答式	60分		16:00～17:00
7	寺 本 早 苗	一問一答式	60分	9/29 (火) 6人	9:30～10:30
8	お だ たか子	一問一答式	60分		10:30～11:30
9	浅 谷 亜 紀	一問一答式	60分		12:45～13:45
10	坂 本 篤 史	一問一答式	60分		13:45～14:45
11	大 島 千都世	一問一答式	60分		15:00～16:00
12	藤 岡 和 枝	一問一答式	60分		16:00～17:00
13	三 宅 浩 二	一問一答式	60分	9/30 (水) 6人	9:30～10:30
14	村 松 あんな	一問一答式	50分		10:30～11:20
15	みとみ 智恵子	一問一答式	60分		12:45～13:45
16	泉 友 紀	一問一答式	60分		13:45～14:45
17	伊 庭 聡	一問一答式	60分		15:00～16:00
18	梶 川 みさお	一問一答式	60分		16:00～17:00
19	川 口 じゅん	一問一答式	60分	10/1 (木) 5人	9:30～10:30
20	桑 原 健三郎	一問一答式	60分		10:30～11:30
21	大 島 淡紅子	一問一答式	60分		12:45～13:45
22	田 中 こ う	一問一答式	60分		13:45～14:45
23	北 山 照 昭	一問一答式	80分		15:00～16:20

※各質問の予定日時につきましては、議事の進行状況により前後することがあります。

(注) 表中、議員名下の () は質問形式

順位	議 員 名	件 名
1	森賀 宣代 (一問一答式)	1 聴覚障がい者への理解促進と手話を活用した共生社会の推進について (1) 宝塚市手話言語条例及び手話施策推進法を踏まえた今後の取組について ア 宝塚市手話言語条例の制定から10年となるが、市のこれまでの取組及びその成果は イ 2025年に施行された手話施策推進法を受け、宝塚市として新たな取組はあるか ウ 手話に関する施策を障害福祉分野だけの課題とせず、教育、医療、防災など市全体の施策として推進するための庁内連携はあるか エ N E T 1 1 9 緊急通報システムの周知や活用状況の推移は (2) 学校教育における聴覚障がい者理解と手話に触れる機会の確保について ア 市立小・中学校において、聴覚障がい者や手話について学ぶ機会の現状は イ 聴覚障がい者や宝塚ろうあ協会、手話通訳士などと連携した体験型の学習機会を広げていく考えはあるか (3) 市職員に対する聴覚障がい者の理解と合理的配慮について ア 聴覚障がい者の生活や文化、コミュニケーション方法及び合理的配慮について市職員が学ぶ機会はあるか イ 新規採用職員や中途採用職員をはじめとする職員教育として、定期的に聴覚障がい者や手話に触れる研修を実施する考えはあるか ウ 窓口で活用できる簡単な手話を実際に使用できる環境を整備する考えはあるか (4) 手話通訳の専門性と処遇、人材確保について ア 現在の手話通訳士の雇用形態、登録人数、勤務状況は イ 手話施策推進法では、手話通訳者などの人材確保、養成、資質向上、処遇確保が求められているが市の見解は ウ 市に配置する手話通訳士について、任期付正規職員を含めた雇用の安定化や処遇改善、人材育成について検討する考えはあるか (5) 民間事業者へ聴覚障がい者に対する合理的配慮を推進するための働きかけについて ア 改正障害者差別解消法により、民間事業者にも合理的配慮の提供が義務化されたが、市内事業者への周知や研修などの取組はあるか イ 合理的配慮について民間事業者と共同で出前講座や研修を実施する考えはあるか ウ 市の手話通訳事業において、聴覚障がい者だけでなく意思疎通を図るために市民などが手話通訳士を派遣できる制度があるが、この制度の周知や活用の現状は
2	持田 ちえ (一問一答式)	1 子どもの命を守るために (1) 子ども・若者の自殺対策について ア 本市における子ども・若者の自殺の現状と、現在の課題認識について

		イ 改正自殺対策基本法及び国から示されている「こどもの自殺対策」について、本市はその趣旨と自治体に求められている役割をどのように受け止めているか ウ 子どもの自殺対策の所管と、危機に至る前の把握から必要な支援につなぐまでの庁内・関係機関を横断した推進体制について (2) 子どもの「生きる」を支えるために ア 本市が子どもたちに提供している体験、学び、居場所、文化、スポーツ活動等の全庁的な取組の全体像と、子どもが自分にどのような選択肢があるのかを見渡せる環境について イ 「子どもの命を守る」「子どもの生きる力」「ウェルビーイング」という目的から、子ども施策を俯瞰することについて
3	末永 やよい (一問一答式)	1 持続可能な都市基盤整備・管理について (1) 公園区計画について ア 当初予定していた業務内容に対する現在の進捗状況について イ 策定した公園区計画を実現していくための今後の進め方について ウ 今後の新たな公園区の募集及び全市展開の考え方について (2) 都市計画公園の見直しについて ア 長期未整備となっている都市計画公園の見直しの進め方について (3) 街路樹管理計画について ア 策定後の取組状況について イ 街路樹の安全確保及び持続可能な維持管理について (4) シビックゾーンについて ア 市民との対話を踏まえた今後の方向性について イ 官民連携を含む今後の取組の進め方について 2 都市基盤における事業の優先順位と財源配分について (1) 都市基盤整備における事業選択の考え方について (2) 既存の都市基盤の維持や保全と新たな整備とのバランス及び計画の実現可能性について
4	中山ゆうすけ (一問一答式)	1 地域活動にチャレンジする学生をつなぐ交流会について (1) 目標は 2 宿題の在り方は適切か (1) 小・中学校の宿題について ア 根拠 イ 目的と意義 (2) 長期休業中の課題について ア 分量は適切か イ 内容は適切か

		3 成績のつけ方の透明化について (1) 現状は (2) 主体的に学習に取り組む態度をどのように測定するか 4 開かれた市立小・中学校づくりについて (1) 現状は (2) 教職員が学校外で学ぶ機会の確保について
5	北野 聡子 (一問一答式)	1 障がいのある人の自分らしい生き方を尊重し支援する福祉サービス (1) 就労継続支援の現状と、今後も福祉サービスを安定継続するためにどのように課題を解決していくのか (2) 市内に就労定着支援を実施する事業者はなく、都市部に集中しやすい傾向があるとのことだが、利用者の増加にどう対応しているのか (3) 就労移行支援では、宝塚市では在宅と通所の併用での訓練を望む人への対応が大変厳しいのが現状と聞いている。申請できないその理由は 2 ヘイトスピーチなどの人権侵害から市民を守る取組 (1) 本市の「登録型本人通知制度」の内容の充実と登録者増の推進の現状は (2) ヘイトスピーチなどに対する「インターネット・モニタリング事業」について本市の取組状況は (3) 差別解消のための職員研修と市民への啓発活動や人権教育の推進について (4) 部落差別についての学びを学校で系統的に進めるための授業書作成の進捗は 3 L G B T Q + の差別解消と人権擁護 (1) 本市での啓発リーフレット「ありのままに自分らしく生きられるまち宝塚 II」の内容の推進状況は (2) 2024年3月発行の『ありのままに自分らしく』互いに認め合える学校園所をめざして～性の多様性について考える～は十分活用されているのか (3) 当事者の医療における困難克服のために市立病院は適切に対応できているのか (4) 宝塚市内でホルモン治療を始めたい人への対応は (5) 災害時の避難所における L G B T Q + への合理的配慮を適切に行う計画は (6) プライバシーを尊重する安心・安全なトイレを増やせないか
6	中野 正 (一問一答式)	1 兵庫県の財政状況悪化に伴う本市への影響について (1) 県財政の現状を市はどう認識しているのか (2) 宝塚市に関係する県事業への影響 (3) 県からの補助金・負担金への影響

		(4) 市の一般財源による穴埋めについて (5) 特に守るべき市民サービスについて (6) 県との協議・情報収集体制について 2 学校・家庭・行政をつなぐ相談支援体制について (1) 宝塚市における学校への苦情・要望件数 (2) 教員の保護者対応による負担実態 (3) 教員の休職・退職理由の分析 (4) 教育、福祉、子育て支援を一体的につなぐワンストップ型相談窓口の整備についてどう考えるか 3 人口減少時代における持続可能なまちづくり、いわゆるスマートシュリンクについて (1) 人口減少を前提としたまちづくりへの対応が必要ではないかと考えるが市の考えは (2) 公共施設は「削減」から「再構築」への観点が必要だが、市の考えは (3) 学校・幼稚園を「地域の拠点」として考える必要があると思うが市の見解は (4) 小浜と売布を「これからの宝塚」のモデルにしていく必要があると思うが市の見解は (5) 「宝塚版スマートシュリンク」を市政の共通軸にする必要があると考えるが市の見解は
7	寺本 早苗 (一問一答式)	1 都市型水害を前提にした本市の防災のこれからについて (1) 千葉豪雨級の都市型水害を想定した、本市の被害推計は (2) 社会機能の早期再開が求められるインフラのリスク評価と機能継続策について ア 医療機関（救急・透析・在宅医療）、保育所（要配慮者施設）、公共交通、消防・警察・市役所、上下水道・電力・通信など、都市型水害時に優先的に守るべき社会機能を特定し、機能継続策（BCP）を検討しているか (3) 道路冠水と車両水没による人的被害の危険性について (4) 避難所の質向上と災害関連死の防止について ア スフィア基準の順守、TKB48、要配慮者対応、ペット同行・同伴避難の強化を進める考えは 2 政策形成過程における熟議性と市民意見反映の在り方について (1) 審議会の熟議性、当事者参加、透明性は確保されているか (2) パブリック・コメントの市民意見反映は十分か（形骸化の是正について） 3 宝塚の文化資源の継承と発信に向けて (1) 日本シャンソン100周年に向けた本市の文化発信について

		(2) 手塚治虫生誕100周年を契機とした資料収集・アーカイブ化について
8	おだ たか子 (一問一答式)	1 少子高齢化・介護人材不足時代における持続可能な介護について (1) 介護人材不足の現状認識について ア 宝塚市の介護人材の現状 イ 今後の需要と供給の見通し (2) 介護現場のICT・介護テクノロジー導入の現状は ア 市内事業所の導入状況 イ 市の支援状況 2 豪雨災害時の有効な減災について (1) 宝塚市の内水氾濫リスクは ア 豪雨に備え現在想定している時間雨量は イ 大堀川をはじめ、軽減を図った工事が行われてきたがどこまで完成したか (2) 大堀川の県の外水対策は進んでいるのか。また、今後の県財政悪化において続けられるのか (3) 内水氾濫予防措置として整備された米谷1号雨水幹線における排水不完全による浸水の可能性は (4) 既存公園やグラウンドの地下空間を雨水貯留に活用した他市事例は
9	浅谷 亜紀 (一問一答式)	1 よりよい行政組織及び運営について (1) 教育委員会と市長部局における文化に関する職務権限の特例、及び条例整備について (2) 図書館やスポーツ等について、まちづくりの視点で捉えるならば、文化と同じく特例として市長部局でより幅広い運営を目指すべきではないかと考えるが、どうか (3) 学童保育等、児童生徒に密接する職務を教育委員会に置くことのメリットについて 2 「こどもまんなか」における地域格差と子育てを支援する児童館について (1) 児童館など子育て支援施設がない地域に出向きサービスを補完する出前児童館の職員配置は1名であるが、地域の協力が難しい昨今、子どもの安全な見守りに配慮した職員数が必要ではないか (2) 民間設置運営児童館の負担金補助及び交付金が児童館利用者数に基づいていない根拠は (3) 今年度、児童館が放課後児童クラブ待機児童の居場所として推奨されたことについて、子どもたちへの周知はどのように行われ、児童館側の運営への影響をどう考えるか 3 清潔で安全な公園の環境整備を (1) すみれガ丘のシンボルである中央公園の老朽化したトイレ、及びポンプ

		は停止し、長年放置されている。不衛生な水路や地面の割れ、欠けによる危険性についての認識は (2) 地域住民が安全で安心して憩える公園維持管理に向けた修繕及びパーク P F I の導入を含めた今後の方策は 4 市民にとって価値あるシビックゾーンの在り方について (1) シビックゾーンの維持管理におけるエリアとしての民間活力の重要性と令和8年度第1回宝塚大会議の成果について (2) 今後の進め方について
1 0	坂本 篤史 (一問一答式)	1 安心・安全な生活について (1) 身寄りのない高齢者等の課題について ア 現在の課題となっていることは イ 本年6月に成立した社会福祉法の施行でどう変わるのか (2) スプレー缶やカセットボンベの安全な排出・回収について ア 排出方法について イ 未使用のスプレー缶やカセットボンベの回収について (3) 市が管理する集水ますや側溝等のしゅんせつについて ア 集水ますや側溝のしゅんせつはどれくらい実施しているのか イ しゅんせつの実施回数は 2 小学校給食の非喫食児童について (1) 長期欠席や不登校、アレルギーなどによる学校給食の非喫食児童の対応について ア 市内の非喫食児童数について イ 非喫食児童の給食費の取扱いについて 3 松江市姉妹都市交流について (1) これまでの取組と成果について (2) これからの取組について
1 1	大島 千都世 (一問一答式)	1 地域猫活動の推進と市民負担の軽減に向けた制度改革について (1) 過酷な現場実態を踏まえた補助金制度の拡充と手続の簡素化について ア 不妊去勢手術のみならず T N R 活動における捕獲費用・初期医療等の助成対象拡大について イ 申請手続の簡素化・迅速化及び市民への周知徹底について (2) 地域猫活動の認定要件（自治会承諾等）の柔軟な見直しと合意形成支援について (3) 市民ネットワークやボランティアとの協働体制及び市の伴走支援について 2 生活困窮者自立支援制度における就労支援について

(1) 相談窓口のワンストップ化（簡素化）の推進について

ア 生活困窮、生活保護など複合的な困り事を抱える市民に対する現行の受付・案内体制の実態

イ 市民にとって分かりやすい一元的な総合相談窓口（ワンストップ相談窓口）の設置及び案内の簡素化に向けた見解

(2) 各対象別（生活困窮者・生活保護受給者・障がい者）の自立に向けた就労支援の連携状況と支援実績（成果）について

ア 部門間（せいかつ支援課、生活援護課、障害福祉課、障害者就労支援センター「Beゆう」）の横断的な情報共有と連携状況

イ 各部門における相談件数、就労準備支援・就労訓練等の利用状況及び実際の就労決定・自立に至った成果の実績

(3) 住居・食料・就労体験等を一体的に支える官民連携の推進と民間委託の在り方について

ア 伊丹市雇用福祉事業団に見られるような行政と民間事業者が深く連携した就労訓練・居住支援・生活支援の好事例に対する本市の認識

イ 行政単独では対応が難しい就労体験先の開拓や、生活基盤支援に向けた民間団体への業務委託や協働体制の拡充

3 中学校部活動地域展開における本市の進捗状況と課題への対応について

(1) メールでの周知体制のほかに、対面での「代表者会議」の定例開催について

ア 補助金申請・提出書類の複雑化に伴う現場の困惑と、対面での説明会・個別相談窓口の設置

イ 種目間の情報孤立を防ぎ、現場の生の声を吸い上げるための「定期的な代表者会議（連絡協議会）」の早急な開催

(2) スポーツ各競技及び文化部活動における受皿づくりの進捗実態と周知不足について

ア 競技団体（協会）主導以外の種目や、受皿整備が遅れる文化部活動の現在の取りまとめ実態

(3) これまでの議会答弁と9月本格実施後の現場実態との乖離及び教育委員会の伴走姿勢について

4 「第59回日本女子オープンゴルフ選手権」開催を契機とした、ジュニアアスリートへの支援の抜本的見直しについて

(1) 地元開催のナショナルオープン及び市内出身選手の活躍に対する市の受け止めと情報発信について

ア 宝塚ゴルフクラブで開催される「第59回日本女子オープンゴルフ選手権」の開催意義と本市の関わり

イ 市内出身・在住選手や全国大会等に出場する地元アスリートに対する情報発信（公表・周知）の現状と課題

(2) 頑張るジュニア世代・トップアスリートへの経済的支援（補助金制度）の再構築について

ア 過去に存在したアスリート・全国大会出場者への補助金・激励金制度

		等が廃止されたが、現在、陸上をはじめ多種多様な競技で全国・近畿大会へ挑む子どもたちや若手選手の遠征費・活動費に対する新たな支援スキームの創設
1 2	藤岡 和枝 (一問一答式)	1 青少年の健全な育成について (1) 中高生・若者が安心して相談できる体制について (2) 学校現場における安心して相談できる体制について 2 切れ目のない健康管理のデジタル化について (1) 予防接種事務のデジタル化について ア 国の方針 イ 本市の取組状況 ウ 期待される効果、メリット (2) 母子健康手帳のデジタル化について 3 未来につながる家庭教育の在り方について (1) 新たな学びのスタイルとして注目を集める「ラーケーション」制度の導入について
1 3	三宅 浩二 (一問一答式)	1 産業振興について (1) 商工振興について ア 商工業振興計画の進捗状況 イ 振興計画にある課題解決に向けての市の取組 (2) 観光振興について ア 観光振興戦略の進捗状況 イ 振興戦略にある課題解決に向けての市の取組 2 頻発する自然災害について (1) 想定を超える気象災害が全国で頻発しているが、本市の防災対策は ア 公共インフラにおける防災対策 イ 市民へ周知すべき防災対策
1 4	村松 あんな (一問一答式)	1 熱中症対策について (1) 部活動における熱中症対策の強化 ア 本市の小・中学校におけるクラブ活動、部活動の熱中症対策の現状は。特に中学校においては、部活動の地域展開完了後、学校単位から運営主体が地域団体となるが対策の現状は イ 従来の対応では防ぎ切れないほど熱中症リスクが高まる中で、追加的対策を検討する考えはあるか (2) 高齢者の熱中症対策と公共施設の熱中症に伴うキャンセル特例措置 ア 熱中症による高齢者の救急搬送件数の推移は イ 市内の各スポーツ施設における夏季期間中の利用割合は

		ウ 熱中症を理由とした公共施設の利用キャンセルについて、現行の基準により、キャンセルとなった件数は 2 第21回統一地方選挙における投開票事務について (1) 効率化に向けた検討状況 ア 第18回統一地方選挙からこれまでの事務コストの推移と第21回統一地方選挙に係る費用の見込みは イ 翌日開票についての検討状況は ウ デジタル化を進め、長期的なコスト削減を図る取組について、現状と今後の方向性は
15	みとみ智恵子 (一問一答式)	1 誰もが生き生きと暮らせるまち、宝塚 (1) 高額療養費制度の見直しと患者支援について ア 高額療養費制度見直しによる宝塚市民への影響は イ 治療と生活を両立するための相談支援は ウ 市民が安心して必要な医療を受け続けるための市の役割は (2) ひとり暮らし高齢者や身寄りがない人への支援について ア ひとり暮らし高齢者や身寄りがない人の実態と課題は イ 身寄りがない人への相談・支援体制は ウ 将来や人生の最期までを見据えた支援は
16	泉 友紀 (一問一答式)	1 専門的知見を活用した行政コストの適正化について (1) 本市における行政コストの検証について (2) 行政内部での検証が難しい分野の把握について (3) 施設管理、保守点検、業務委託等の外部の専門的知見を活用したコスト検証について 2 学校給食における食品ロス削減について (1) 給食中止時における未使用食材の有効活用について ア 警報等による休校時の未使用食材の取扱いについて イ 未使用食材の有効活用に向けた現状と課題について (2) 学校給食における残食削減と食育について ア 子どもが十分に食べる時間を確保する取組について イ 食品ロス削減を食育につなげる取組について
17	伊庭 聡 (一問一答式)	1 地域経済と税源を育てる「稼ぐ宝塚」の都市経営について (1) 地域経済の活性化を市民所得や市税収入の増加につなげる考え方について (2) 観光、産業振興、企業支援等の施策について、経済波及効果や税収効果を把握・検証することについて (3) 市が支出する経費についても、市内への経済循環や税源への効果を意識した制度設計を行うことについて

		2 学校給食アンケートを踏まえた、より質の高い学校給食について (1) 学校給食に関するアンケート結果と、その後の検討状況について (2) 主食の在り方や使用する食材など、今後の学校給食の質の向上について 3 市民主体の予防・健康づくりを後押しする仕組みについて (1) 本市における予防・健康づくり施策の現状と、その成果の捉え方について (2) 市民が主体的・継続的に健康づくりに取り組むことを後押しする仕組みについて (3) 健康行動へのインセンティブや地域との連携など、今後の予防施策の展開について 4 こども医療費助成制度の見直しに伴う、教育・保育施設から求められる受診負担について (1) 感染症罹患後の登園・登校等に際し、教育・保育施設から医療機関の受診や証明書等の提出を求めている現状について (2) こども医療費助成制度の見直しにより、施設から求められる受診についても保護者負担が発生するのか
18	梶川 みさお (一問一答式)	1 夏期臨時地域児童育成会の成果と課題について (1) 夏期臨時地域児童育成会の成果について ア 共働き世帯のニーズに答えられたと思うか イ 待機児童解消の効果は ウ 会計年度任用職員をスタッフにしたことのメリットは エ 他にどのような成果があったのか (2) 夏期臨時地域児童育成会の課題について ア 必要なスタッフ数は確保できたか イ スムーズな運営ができる組織体制であったか ウ 他団体からの協力はあったのか エ 必要な予算の配分はされたのか オ 申込手続の簡素化はできたか カ 他にどのような課題があったか 2 会計年度任用職員（日額・時間額）を取り巻く環境改善と処遇改善について (1) 会計年度任用職員（日額・時間額）を取り巻く環境改善について ア 相談窓口の設置について イ 職場のハラスメント研修の実施について ウ 休憩時間や勤務時間・職務内容の明確化について エ 業務に関する情報の伝達・共有について (2) 会計年度任用職員（日額・時間額）の処遇改善について

		ア 初任給の引き上げと経験年数加算の拡大について イ 職種別賃金格差の妥当性について ウ 仕事量に見合った勤務時間の確保について
19	川口 じゅん (一問一答式)	1 被災時に、保護者が判断して動けるための備えから、地域とともに日常を取り戻すための道筋について (1) 本市の防災はどの計画に基づいて実施されているのか (2) その計画の直近の修正について (3) 想定している災害と主な被害は 2 給食無償化に伴う非喫食児童生徒の家庭への経済的支援について (1) 不登校や病気等により学校給食を食べていない児童生徒の家庭への経済的支援について、今年3月の代表質問以降の検討状況は
20	桑原 健三郎 (一問一答式)	1 武庫川河川敷の一体的活用と回遊性の向上について (1) 宝塚駅周辺の武庫川河川敷の一体的活用について ア 市が管理する兩岸の河川敷について、現在の利用状況と今後の活用の可能性をどのように認識しているか イ 兩岸の河川敷を一体的な空間として活用するため、河川敷間を直接往来できる歩行者動線を確保することについて、市の見解は (2) 兩岸を結ぶ歩行者用潜水橋等の可能性について ア 歩行者用潜水橋等により兩岸を直接結ぶことについて、河川管理者である兵庫県等と協議し、実現可能性や課題を調査・研究する考えはないか 2 スポーツ環境の充実について (1) 市立スポーツセンター周辺の交通渋滞の解消について ア 駐車場不足に伴う周辺道路の渋滞及び交通上の危険について、現状と課題をどのように認識しているか イ 「シビックゾーン官民連携事業の基本的な考え方(案)」を踏まえ、駐車場の確保及び車両動線の最適化を、今後どのように具体化していく考えか (2) スポーツ施設における熱中症対策の充実について ア スポーツ施設における熱中症対策の現状と、冷却装置付循環式アイスバス等の身体冷却設備を導入することについて、市の見解は (3) 市立中学校の武道場等への空調整備について ア 武道場等の夏季の利用環境をどのように認識しているか。また、学校教育、部活動の地域展開、地域利用及び災害時の活用を踏まえた空調設備の整備について、市の見解は (4) 売布北グラウンドの利用環境の改善について ア 野球等の練習時に飛球が防球設備を越えて隣接地へ出ることにについて、現状と安全対策をどのように認識しているか

		イ 利用者や指導者等の休憩・待機等に使用できる控え室をバックネット裏等に設置することについて、市の見解は
2 1	大島 淡紅子 (一問一答式)	1 多死社会における「死の社会化」と自治体の役割 (1) 家族の形の変容は ア 65歳以上世帯の単独世帯と夫婦のみの世帯の割合 (2) 市営霊園について ア 無縁墓・墓じまいの動向は (3) 引取手のない遺体・遺骨の状況は (4) 孤独死した方の死後の手続や遺留金品の取扱い (5) 「葬儀」には、①人の死を公に知らせ、社会的な区切りをつける②故人への感謝や別れの言葉を伝える場③故人の魂の安らぎや成仏を祈るという3つの意味がある。この「葬儀」に関する相談や苦情が、消費生活センターに届く状況は (6) 希望する医療や介護サービス、延命措置の可否、緊急連絡先、納骨方法など、本人が元気なときに書き記しておくことやパソコンに残すことを、市はどのように奨励しているか 2 公社について (1) 成り立ちの経緯と存在意義は (2) 一般財団法人宝塚市保健福祉サービス公社が運営するステップハウス宝塚の建て替え等、市の関与はどうか 3 沖縄での平和学習を行う意義を改めて考える (1) 3月の名護市辺野古沖での研修中の事故について、市教委はどのように受け止め、今後につなげるのか 4 障害・障害者理解市民啓発事業の統廃合について (1) 統合の経緯は (2) 市民、特に障がい当事者への説明は
2 2	田中 こう (一問一答式)	1 市民の「いのちとくらし」を守るために (1) 自殺防止に全力を ア 自殺予防週間（9月10日～16日）及び自殺対策強化月間（3月1日～31日）における取組検証と今年度施策への反映について イ 子どもの自殺防止に向けた取組の強化について ウ 自殺対策基本法で示された学校での「心の健康の保持のための健康診断」の実施状況は エ ギャンブル等依存症対策の強化について オ 生活保護利用者における自殺対策と課題意識について (2) 生活保護基準引下げ違法最高裁判決に伴う追加給付の対応と支給漏れを防ぐ仕組みについて

		(3) 健康で文化的な住宅確保に向けた支援について (4) 命と健康を守る保険証は全加入者に交付を
23	北山 照昭 (一問一答式)	1 新市立病院の整備計画と赤字体質の克服について (1) 新病院の基本的な在り方について ア 「赤字体質克服と経営形態の見直し」をなぜ曖昧にし、先送りしているのか イ 将来にわたり、安定的に医師の確保はできるのか (2) 新病院の診療科目について ア 「現在の病院機能を維持する」としているが、阪神圏域における病院の整備状況及び市立病院の経営健全化（赤字解消）、市内の民間病院などとの連携強化などを考慮する場合、診療科目を適正化すべきではないのか (3) 施設整備計画について ア 病院本館や検査棟は、既に相当劣化しており、回復期病床などを医療の核とした民間病院などの誘致は可能なのか イ 病院本館や検査棟の改修費用は、どちらが負担するのか ウ 公共施設を新たに設ける、もしくは移設すると計画しているが、具体的には エ 病院本館や検査棟は、全て活用することができるのか。できなかった場合、活用できなかった床はどうするのか オ 病院本館及び検査棟の解体費は、現在の想定で約60億円必要と見込まれているようだが、解体費はどこが負担するのか。誘致した民間病院などが負担するのか 2 中山台ニュータウンの再生と新たな街づくりについて (1) 旧中山五月台小学校等跡地利活用方針の改訂について ア 令和8年9月、なぜ改訂したのか イ 周辺環境に配慮し、地域全体にとってプラスになる利活用になるのか ウ 有償譲渡の場合、転売され地域の住環境が悪化することになるのではないのか (2) 国際バカロレア教育導入の対象校に中山台小学校及び中山五月台中学校も加えることはできないのか (3) 多目的広場（野球場など）のある、中山中央公園（4万8千平方メートル）に整備されている駐車場は、いつから、なぜ閉鎖されているのか 3 低水圧地域の解消に向けて (1) 売布、売布東の町、中山荘園、中山寺、中筋山手、中筋の一部の低水圧地域の解消に向けて ア 売布、売布東の町、中山荘園、中山寺、中筋山手、中筋の一部における低水圧地域（宝塚市は200キロパスカル以下）の把握はいつから行っているのか。また、いつから低水圧地域として図面化しているのか

		イ 売布、売布東の町、中山荘園、中山寺、中筋山手、中筋の一部地域における低水圧地域は、それぞれどこから配水しているのか ウ 中山観音駅の北側のエリアについては、中山寺自治会などから水圧アップを求める要望があり、本年の４月及び２０１９年にも水圧測定をしているにもかかわらず、なぜ今日まで具体的な対策をしてこなかったのか エ ６月市議会で詳しく指摘して以後、水圧アップ(国の技術基準・１５０キロパスカル以上)に向けての取組はどこまで進んでいるのか ４ 低地帯の冠水（浸水）被害の解消と大堀川の河川改修の促進について (１) ８月２８日（金）の深夜、レベル３大雨警報時における、向月町及び鶴の荘地域の被害状況は (２) 向月町における内水対策としての補強管布設工事について ア いつ着手になるのか イ 工事期間をできる限り短縮できないのか (３) 大堀川における、国道１７６号線下への新たなバイパス管の整備はどうなっているのか
--	--	---